

作成日: 2010年01月21日

最新改訂日: 2010年12月02日

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名: モレキュラーシーブ 5A 1/16
 会社名: ナカライテスク株式会社
 住所: 京都市中京区二条通烏丸西入東玉屋町498
 担当部署: 生産管理部
 電話: 075 932 1755
 FAX: 075 932 4872
 推奨用途: 試薬、化学品の中間体原料等
 整理番号 (MSDS No.): GHS-04174-2

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	火薬類	—
	可燃性/引火性ガス	—
	可燃性/引火性エアゾール	—
	支燃性/酸化性ガス類	—
	高压ガス	—
	引火性液体	—
	可燃性固体	—
	自己反応性物質および混合物	—
	自然発火性液体	—
	自然発火性固体	—
	自己発熱性物質および混合物	—
	水反応可燃性化学品	—
	酸化性液体	—
	酸化性固体	—
	有機過酸化物	—
	金属腐食性物質	—
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	—
	急性毒性(経皮)	—
	急性毒性(吸入:ガス)	—
	急性毒性(吸入:蒸気)	—
	急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	—
	皮膚腐食性/刺激性	—
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	—
	呼吸器感作性	—
	皮膚感作性	—
	生殖細胞変異原性	—
	発がん性	—
	生殖毒性	—
	標的臓器/全身毒性(単回暴露)	—
	標的臓器/全身毒性(反復暴露)	—
	吸引力呼吸器有害性	—
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	—
	水生環境有害性(慢性)	—

注:上記記載の — は、分類対象外または分類できないことを示す。

絵表示またはシンボル —

注意喚起語 なし

他の有害性情報 適当な保護衣、手袋及び眼/顔面用の保護具を着用する。
 皮膚及び眼との接触を避ける。
 眼と接触した場合は、直ちに多量の水で洗い医師の診断を受ける。
 事故の場合又は気分が悪いときは、直ちに医師の診断を受ける(可能であればラベルを示すこと)。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 化学物質
化学名又は一般名 : モレキュラーシーブ 5A 1/16
化学式 : $\text{CaNa}_{12-2n}[(\text{AlO}_2)_{12}(\text{SiO}_2)_{12}] \cdot x\text{H}_2\text{O}$
CAS No. : 69912-79-4
濃度又は濃度範囲(含有量) (%) :
GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物 : なし

4. 応急措置

一般的な初期手当 :

事故が起きたときあるいは気分が悪い場合、直ちに医師の診察を受ける(できればラベルを見せる)。

吸入した場合 :

吸入による事故の場合は負傷者を新鮮な空気のある場所に移し、休息させる。

呼吸が弱かったり止まっている場合、衣類をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。

皮膚に付着した場合 :

汚染された衣類すべてを直ちに脱ぐ。

皮膚に触れたら、直ちに多量の水と、石鹼で洗う。

目に入った場合 :

最低15分間、清浄な水でゆるやかに眼の洗浄を行う。できるだけ速やかに医師による診断と医療処置を受ける。

飲み込んだ場合 :

飲み込んだ場合、直ちに医師の診察を受け、医師にその容器又はラベルを見せる。

水でよく口の中を洗わせる。意識がある場合、水をコップ1-2杯飲ませた上で、指をのどに差し込んで吐き出させる。

被災者に意識のない場合は、吐かせてはならない。

応急措置をする者の保護 :

救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤 :

この製品自体は、燃焼しない。

火災の場合は霧状水、泡/耐アルコール泡、粉末、二酸化炭素、乾燥砂を使用する。

周辺の状況に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤 :

特になし

火災時の措置に関する特有の危険有害性 :

燃焼の際に生成する有毒な煙、蒸気またはガス : 知見なし

特有の消火方法 :

速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合には、容器及び周囲に散水して冷却する。

消火作業は、風上から行う。初期の火災には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。

大規模火災には、泡消火剤などを用いて空気を遮断することが有効である。

消火を行う者の保護 :

消火作業従事者は適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 :

関係者以外の立ち入りを禁止する。

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項 :

漏出した製品が、河川などに排出され、環境へ影響を起こさないよう注意する。

回収、中和 :

掃き集めて、容器に回収する。

粉じんが飛散しないようにする。

封じ込め及び浄化の方法・機材 :

危険でなければ漏出源を遮断し、漏れを止める。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い :

技術的対策 :

(取扱者の暴露防止)

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気装置・全体換気：

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気装置、全体換気を行う。

注意事項：

みだりにエアロゾル、粉じんが発生しないように取り扱う。

接触回避：

『10. 安定性及び反応性』を参照。

安全取扱い注意事項：

容器に過度の衝撃を加える、転倒させる、落下させる、又は引きずるなどの粗暴な扱いをしない。

保管：

技術的対策：

保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

混触禁止物質：

『10. 安定性及び反応性』を参照。

保管条件：

(適切な保管条件)

直射日光を避け、密栓して冷暗所に保管する。

(避けるべき保管条件)

『10. 安定性及び反応性』参照。

安全な容器包装材料：

ポリエチレン、ポリプロピレン等

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：

屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化または局所排気装置を設置する。取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

管理濃度：

作業環境評価基準(2005)

未設定

許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)：

[日本産衛学会]

未設定

[ACGIH]

未設定

保護具：

呼吸器用の保護具：

空気呼吸器(SCBA)を着用する。

防じんマスク

手の保護具：

状況に応じて、ゴム製などの不浸透性の手袋を着用する。

目の保護具：

保護眼鏡または安全ゴーグルを使用する。

皮膚及び身体の保護具：

状況に応じて、ゴム製の前掛け、長靴、保護衣などの不浸透性の保護具を接触を避けるために着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など：微灰色の円柱状固体

臭い：知見なし

pH：(水溶液はアルカリ性)

融点／凝固点：知見なし

沸点、初留点及び沸騰範囲：知見なし

引火点：知見なし

爆発範囲：知見なし

比重／密度：知見なし

溶解性：

水に対する溶解性；溶けない

溶媒に対する溶解性；多くの有機溶媒に溶けない

オクタノール／水分配係数 (log Pow) : 知見なし

10. 安定性及び反応性

- 安定性 :
 - 予期される通常の保管及び取扱いの条件において安定と考えられる。
- 危険有害反応可能性 :
 - 知見なし
- 避けるべき条件 :
 - 日光、熱
- 混触危険物質 :
 - 知見なし
- 危険有害性のある分解生成物(一酸化炭素、二酸化炭素及び水を除く) :
 - 知見なし

11. 有害性情報

- (この物質の、ヒトの健康への影響に関するデータが不十分なので、最大の注意を払う必要がある。)
- 急性毒性 :
 - 気道を刺激する場合がある。
- 局所効果 :
 - 眼及び皮膚を刺激する場合がある。
- 感作性 :
 - 知見なし
- 慢性毒性・長期毒性 :
 - 反復又は長期の皮膚への接触により、皮膚炎を起こすことがある。
 - 反復又は長期の曝露により、肺が冒されることがある。
- がん原性 :
 - IARC及びNTPのリストに記載されていない。
- 変異原性 :
 - 知見なし
- 生殖毒性 :
 - 知見なし

12. 環境影響情報

- (この物質の、自然環境への影響に関するデータが不十分なので、最大の注意を払う必要がある。)
- 移動性 :
 - 知見なし
- 残留性／分解性 :
 - 知見なし
- 生態蓄積性 :
 - 知見なし
- 生態毒性 :
 - 知見なし

13. 廃棄上の注意

この製品及び容器は、適法な設備、方法で処理する。
 ただし、周辺環境や生態系に対して無害かつ安全に処理するためには十分な設備及び知識が備わっていないなければならない。処理作業に不安が伴う場合は、正式認可を得た処理業者に内容を開示した上で処理を委託する事が望ましい。

14. 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報	非危険物
航空規制情報	非危険物
国内規制	
陸上規制情報	規制なし
海上規制情報	非危険物
航空規制情報	非危険物

使用者が構内若しくは構外の輸送若しくは輸送手段に関連して知る必要がある、又は従う必要がある特別の安全対策:

運搬に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

化学物質排出把握管理促進法

該当しない

消防法

該当しない

16. その他の情報

参考文献

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 13th edit. UN

[http://europa.eu.int/eur-lex/en/\(2004/73/EC\)](http://europa.eu.int/eur-lex/en/(2004/73/EC))

2004 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2007 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/monoeval/grlist.html>

化学物質等法規制便覧改訂第4版(2004) 化学物質等法規制便覧編集委員会編

国際化学物質安全性カード(ICSC)

MERCK INDEX TWELFTH EDITION

15107の化学商品 化学工業日報社(2007)

化学大辞典 共立出版社(1964)

化学品総合データベース(2007) 日本ケミカルデータベース(株)

GHS分類結果(NITE)

責任の限定について

記載内容のうち、含有量、物理化学的性質等の値は保証値ではありません。

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。